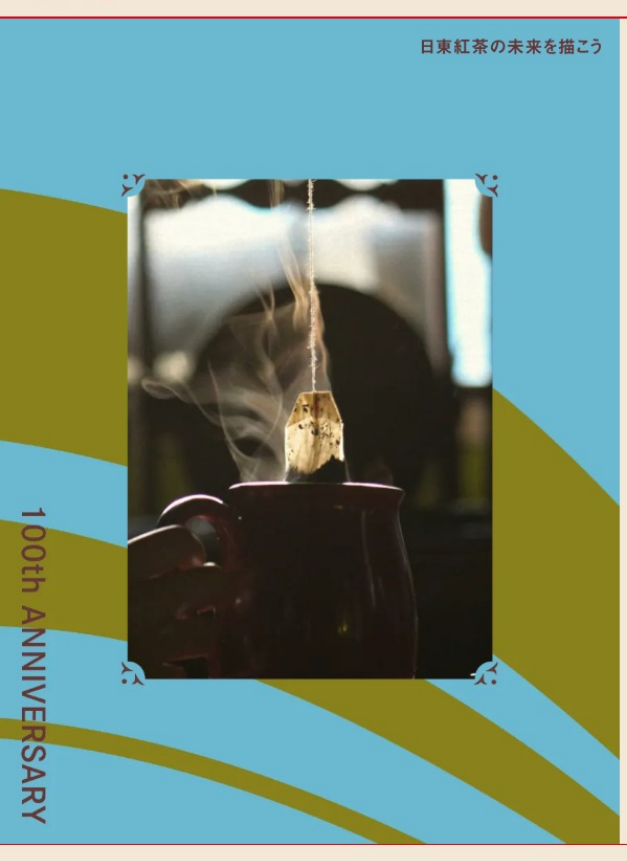


#ジャーナル

2026.07.12

「100ピクニック」で日東紅茶の未来を描こう

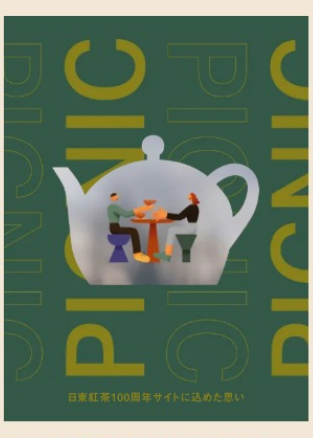
千川 里実 / 経営企画部

日東紅茶が100周年という大きな節目を迎えます。この記念すべきタイミングで、私たちが真っ先に考えたのは「これからの日東紅茶」について。100周年だからこそ、大手を振って未来を描けるタイミングだと思ったのです。
100年前に大先輩方が思い描いた未来がきっと今の日東紅茶。では、私たちは未来の日東紅茶をどう描いていくべきか。様々な議論を重ねた中で、私たちはひとつの答えを見出しました。
「まずは、とにかくやってみよう!」と。
そうして私たちは、紅茶をたずさえ、外へ出ることにしました。
紅茶をたずさえて活動することを「PICNIC」と定義し、100周年にちなみ「100個の活動」を展開するプロジェクト——「100ピクニック」を始動します。「100ピクニック」を通じて、私たちの未来を築く 何かが、きっと見えてくる。

千川 里実(経営企画部)/ 執筆

Share　Download

関連する記事



日東紅茶100周年サイトに込めた思い。紅茶の可能性が集まる場所へ



日東紅茶100周年、その佇まいをデザインする

なぜ「100ピクニック」なのか?

「PICNIC」には、“外へでかける”という意味が含まれています。紅茶を手に外へでかけ、広げたレジャーシートの上で語らう。そんなワクワクするシーンを想像しながら、この活動を「100ピクニック」と名付けました。紅茶を通して、たくさんの方と触れ合い、つながる場を創造すること。それがこのプロジェクトの目指すところです。

「100ピクニック」は、日東紅茶のひとつの部署や、限られた人だけで成し遂げられるものではありません。社員一人ひとりが自ら考え、カタチにしていく必要があります。新しい視点で、新しい場所へ。みんなで「どうやったら実現できるか」「それができたらどんな未来になるか」を真剣に考え、実行してみたいと思います。

そして、その輪は社内だけにとどまりません。

日常に溶け込む紅茶から、その先へ

1927年、「三井紅茶」として誕生した日東紅茶。紅茶文化がまだ根付いていなかった時代に、日本初の国産ブランド紅茶としてその普及や魅力の発信に尽力し、その努力のかいもあって、紅茶はいま、気軽に楽しめる飲みものとして親しまれるようになりました。



しかし私たちは、この状態に甘んじることなく、次のステップを目指します。私たちは、ブランドエッセンス(ブランドの核となる考え方)として『TEAの「もっと」を創り出そう。』を掲げ、紅茶を単なる商品ではなく、心を豊かにする体験や価値を提供する存在として進化させたいと考えています。

「100ピクニック」をきっかけに、“TEAの「もっと」”をひとつずつカタチにしていきます。

「100ピクニック」の第一歩とその手応え

2025年冬に開催した社内向けワークショップ「みんなでピクニック会議」では、社員一人ひとりが「日東紅茶の未来」を自分事として捉え、自由な発想でアイデアを出し合う貴重な機会となりました（詳しくはこちらのコラムもご覧ください）。



そして2026年3月下旬には、「100ピクニック」の第1回活動として、代官山蔦屋書店でキッチンカー「ダルメシアンズ」を出店 。新しい場所、新しい見せ方への新鮮な驚きと期待、そして紅茶の魅力に触れた多くの方々の好意的な反応がありました。このピクニックを通じて、私たちが目指す方向性が確かなものだと自信を得ることができました。



準備運動は十分整った今、次に目指すのは仲間の輪をさらに広げていくことです。

仲間の輪を、広げていく

新しい未来を描くには、私たちだけの発想では足りません。今回、並走していただけるスマイルズさん。紅茶好きな人、面白いアイデアに共感してくれる人、独自のプロダクトを持つ人など、いろいろな方のご協力が不可欠です。さまざまなコラボレーションを通じて、日東紅茶の新たな価値を発信し、多くの方々に共有していきたいと思っています。

何か面白いことを始めると、自然と仲間が集まり、やがてその輪が広がっていく。ひとつの活動が次の活動を呼び、波紋のように広がっていく。その輪こそが、日東紅茶の未来をより豊かにしてくれるはずです。



これからの日東紅茶を一緒に描きましょう

私たちは「100ピクニック」を通じて、より多くの方々と出会い、繋がりたいと思っています。

日東紅茶を長く愛してくださる方はもちろん、まだ出会ったことのない方にも、気軽に紅茶を楽しんでもらえるような、ワクワクする活動を届けていきます。これからの日東紅茶を、一緒に描いていきませんか。

Copyright(c) Mitsui Norin Co.,Ltd. All Rights Reserved.